

令和6年度都立大崎高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の指導の充実。	・前年度の教科書選定時から、学年ごとの課題と指導計画を確認。 ・作文・小論文・国語常識の指導。 ・学年と協力し、朝学習において読書や速読を実施。	・漢字検定の受験の呼びかけ。 ・図書委員会と連携したビブリオバトルへの参加。 ・大学受験ほか幅広い進路に対応する指導方法の研究。
地理歴史	多面的・多角的な考察の充実。	・教科書選定時に豊富な資料を掲載している教科書、資料集を選定。 ・様々な資料から歴史的事象を考察する活動を重視した授業を実施。	・様々な資料の考察をまとめたり、発表したりする学習活動の充実。 ・様々な資料を活用した問題演習の充実。
公民	「公共」導入年度にあたるために、本校の主権者教育の一翼を担う。	・ICT端末の活用によるアクティブラーニングを取り入れる。 ・グループワーク等の協働的な学習を通して、多様な価値観を育みつつ、現代社会の諸課題に対応する問題解決型学習の導入する。	・共通試験問題にチャレンジするなど、知識の定着と発展な学習を行う。 ・出前授業などを取り入れたたり、外部の機関と連携を図る授業を展開する。
数学	「計算」や「解く」ことの指導の充実。	・問題集を活用したテスト前課題の実施。 ・授業内容に沿った週末課題の実施。	・生徒同士で問題解決の過程を相談や振り返りをする授業の実施。
理科	科学的な見方・考え方を働かせた活動。	・事象を科学的に捉え、客観的かつ論理的に考察する課題の実施。	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施。
保健体育	思考力・判断力・及び表現力をつける指導。生徒の主体的活動を重視。	生徒自身が考え、判断し、主体的に行動する取り組み。 何事にも自分たちの目標に粘り強く取り組む。	主体的に考え、知識や技能の習得を目指し達成感や自信につなげる。 保健の授業では、共同作業と発表を行い、表現力・発信力をつける。
芸術	思考力・判断力・及び表現力をつける指導。生徒の主体的活動を重視。	・実習を中心として、基礎的な技術体系の体得を目指す ・鑑賞に関わる多角的視野と基礎理論を共に身につけ、思考力の育成推進を行う	・実習時間を十分に確保し、応用的な技術を体得する。 ・体得した鑑賞力を元に、表現力のさらなる体得をすすめる。
外国語	「基礎基本の徹底から受験レベル」の指導の充実。	・各学年に模擬試験を実施し分析を実施。 ・土曜講座でリスニングを含めた構文指導を実施。 ・英検1次合格者に対する2次面接試験対策。 ・朝のホームルームで朝リスを実施しリスニング力強化。	・オンライン英語会話の有効的な活用のための指導。 ・オンライン英会話を学年全体で実施。 ・共通テストリスニング対策の実施。
家庭	生きる力・たくましい人を育てる。	・被服実習では生徒自ら生地には線を引き、ミシンで縫うことにより、モノができていく過程を深く理解できるようにする。 ・物語のビデオを見て、セリフや状況から事情を把握することができるようにする。	・家庭経済について、今までの知識を応用し家計が流れていくさまを想像しながら設計することができるようにする。 ・栄養分野を学び、人生100年時代の体を作るための食生活について実践できるようにする。
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・情報Ⅰ各単元の見終課題で、探究的な実習を実施	・情報Ⅱで情報Ⅰの難分野であるプログラミングやデータベースなどの補完強化を行う。 ・必要に応じて理論だけでなく、実習を適宜取り入れながら、教科内容の深化を行う。 ・深化の度合いによって、適宜別教材を用意して教授を行う。